

# 令和元年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<美濃地区> 白鳥中学校 郡上北高等学校

## 1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

### (1) 連携型中高一貫教育の目標

#### 不撓不屈の郡上人

☆「おかげさま、なにくそ」の心でやり抜く子  
☆高い志をもち、ひたむきに努力する子

郡上の人々は、古くから「不屈の精神」「感謝の気持ち」でふるさとを切り拓いてきた。この伝統を受け継ぎ、「確かな学力」「共に生きる力」「自立する力」の3つを育むことを通して、「新しい未来に向かって、郡上を愛し郡上を支える子」を育てたい。

### (2) 連携型中高一貫教育の令和元年度の重点

- 高校教諭による出前講座、高校生による授業支援、中高の授業交流や研究授業、夏休み学習会などの活動を通して、生徒の主体的な学びを培う指導を実践する
- 公民館応援隊や白鳥ジュニアリーダーズクラブ、MSリーダーズをはじめとするボランティア活動にかかわる生徒の輪をさらに広げ、地域の願いを吸い上げ受けとめた活動を目指す。

## 2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
確かな学力の育成	学習指導	<ul style="list-style-type: none"><li>○高校の教諭から学ぶ場があることで、中学生の高校に対する不安感を和らげることができた。</li><li>○互いの生徒の学習姿勢や生活態度などを把握することができ、それぞれの学校での指導に生かすことができた。</li><li>▲「夏休み学習会」において、開設講座や指導内容など、今まで以上に打ち合わせをする必要がある。</li></ul>
	授業参観と授業研究会	<ul style="list-style-type: none"><li>○中学での研究内容と高校の研究内容をリンクさせることができた。</li><li>○ワークシートを導入することで、生徒自身が成果を感じられるようになった。また、小グループによる学びの場を仕組むなど工夫することができた。</li><li>▲高校の教師がさらに系統性を踏まえ、授業の内容や展開について変えていこうとする意識を持つことが必要である。</li></ul>
	ビジネスコースの生徒による授業支援	<ul style="list-style-type: none"><li>○優しくていねいにアドバイスされる体験を通して、北高への憧れを抱くことができた。高校生は、今までの学びに対して自信と誇りをもつことができた。</li><li>○指導する人数が増えることにより、個に応じたアドバイスを行うことができるとともに、習熟度を深めることができた。</li><li>▲郡上北のコース変更を踏まえ、授業支援の実施方法や時期について検討する必要がある。</li></ul>

共に生きる力の育成	生徒交流	<p>○あいさつや交通安全の呼びかけなど、同じ目的をもって活動することで、つながりを実感することができた。</p> <p>○継続して取り組むことで、地域に貢献しようとする気持ちを高めることができた。</p> <p>▲登校時刻に差があるため、高校生への負担が大きい。実施の方法について検討する必要がある。</p>
	部活動交流	<p>○高校と中学校の美術部合同での作品展を開催することができるなど、つながりを深めることができた。</p> <p>○吹奏楽部の合同練習や合同定期演奏会、バレーボール部の合同練習など、活動が定着している。</p> <p>▲中学での経験を高校で生かすことができるように、部活動の連携について検討する必要がある。</p>
	地域交流 (公民館応援隊)	<p>○地域のイベントや行事に参加することを通して、地域のために役立っているという自己有用感を育むことができた。</p> <p>○企画や運営に携わることを通して、充実感や満足感を得ることができた。参加する人数も増えてきた。</p> <p>▲生徒の移動や活動中の事故など、生徒の安全を保障する仕組みが必要である。</p>
自立する力の育成	先輩に学ぶ会	<p>○進路を実現した先輩からの「生の声」を聴くことで、本当に大切にすべきものは何かについて見つめるよい機会となった。</p> <p>○中学校で努力していることが高校生になったときに役立つのだと実感することができた。</p> <p>▲中学校生活を充実させようとする気持ちを育むために1・2年生を対象としてきたが、進学を控えた3年生も対象に実施したい。</p>
	地域人に学ぶ	<p>○企業が、どんな人材を求めているのか。また、社会人に求められる資質とは何かを郡上市内の企業の方から直接学ぶことができた。</p> <p>○地が中学のキャリア教育に参加することで、地域に貢献する先輩の思いを学ぶことができた。</p> <p>▲さらに、北高の魅力を伝えるために、時期や回数、内容等について検討する必要がある。</p>
	地域に生きる	<p>○G o o d郡上プロジェクトを探究学習として授業内容に取り入れ、「課題解決力」や「表現力」を高めることができた。</p> <p>○地域の一員として思いを深めるとともに、高校の学習内容への関心を深めることをねらい、地域の課題について中高合同で課題探究型の学習を仕組むことができた。</p> <p>▲情報収集の仕方や活用方法についてのスキルを系統的に育むためのカリキュラムを検討する必要がある。</p>